

令和5年度

事業報告書

公益財団法人 静岡産業振興協会

目 次

<総 括>	1
1 公益目的事業	4
(1) 産業及び地域の振興・交流拠点事業（ツインメッセ静岡）	4
① 展示場及び会議室等の貸与	4
(2) 地場産業支援事業	6
① 新製品、新技術支援及びデザイン開発支援事業	6
② 人材養成、人材確保推進事業	8
③ 「産業フェアしずおか」開催事業	10
④ 「ものづくり産業体験事業」に対する協賛金交付事業	11
⑤ ものづくり業界活性化イベント開催支援	11
(3) 都市型産業支援事業	12
① 創業者支援事業	12
② マーケティング支援事業	15
③ 産学連携事業	18
④ 情報提供事業	21
⑤ 施設提供事業	21
(4) 静岡市中小企業支援センター事業	23
① 窓口相談等事業	23
② 専門家派遣事業	24
③ 新連携・地域資源活用プログラム等、利用支援事業	24
④ 中小企業等販路開拓支援事業	24
⑤ 制度融資関連事務	26
2 収益事業（ツインメッセ静岡）	27
(1) 産業及び地域の振興・交流拠点事業（ツインメッセ静岡）	27
① 展示場及び会議室等の貸与	27
② レストランテナント及び飲料水自動販売機事業	28
3 公益と収益に共通する事業	29
(1) 利用促進事業（ツインメッセ静岡）	29
(2) 有料駐車場の管理・運営（ツインメッセ静岡）	30
(3) 施設整備・修繕等（ツインメッセ静岡）	31
4 組織づくり・人材づくりへの取組	33
(1) 組織内の人材育成	33
(2) 組織内の内部統制	33
5 理事会・評議員会	34
(1) 理事会	34
(2) 評議員会	35
参考資料	
◇ 展示場の利用状況	36
◇ 会議室の利用状況	39
◇ 年間来場者数	39
◇ 組織構成	40

<総括>

当協会が策定した第2次中期経営計画（2023年度～2026年度）の初年度にあたる令和5年度は、目標の達成に向けて、静岡産業支援センター（ツインメッセ静岡）では「ツインメッセ静岡貸館事業」及び「地場産業支援事業」を、静岡市産学交流センターでは「都市型産業支援事業」及び「中小企業支援センター事業」を実施した。新型コロナ5類移行後、人流や物流がコロナ禍前の水準に戻りつつあり、全体では概ね計画どおりに実施することができた。

ツインメッセ静岡の貸館事業では、南館大規模改修の完了、新型コロナ5類移行などの要因のほか、低迷している利用率回復に向けて、利用者への的確なサポートや積極的な営業の実施や、多くの人達に即時性・拡散性が高いSNSツール「X(旧 Twitter)」を活用した情報発信の強化をした。その結果、リピーターの再利用や新規顧客の獲得が好調であり利用率・売上ともに目標値を達成することができた。

地場産業支援事業では、伝統工芸技術保存講習会において、受講生が日本最高峰の工芸展である「第70回日本伝統工芸展」へ出品し入選を果たした。令和5年度目標である2点出品には及ばなかったが、他の受講生のモチベーションアップにつながっている。

また、「産業フェアしずおか」は、ブース配置の刷新や子供たちに向けたプラモデル工作や木製椅子作りなどの体験コーナーの拡充を図りフェアを開催した。アンケート結果でも来場者から高い評価を得ることができた。

産学交流センターでは、前年度に引き続き、様々なセミナーを開催したが、コロナ禍が収束したため、対面式での開催を増加させて実施した。

ここ数年、ホームページやSNS、生成AI・ChatGPTなどの活用に対するニーズが高まっているため、初級者・中級者を対象としてワークショップ形式で「ちょこっとWEBマーケティング」を試験的に行ってみた結果、毎回安定的に集客ができ、当センターの今後の活動領域について一石を投じたものとなった。

また、前年に続きIT相談員を設置し、土曜日をWEBマーケティングに係る相談日とした。

なお、第2次中期経営計画の年度計画における実績の主なものは、次表のとおりである。

第2次中期経営計画の年度計画における実績の主なもの

	令和5年度計画	実績（※評価）	説明等
ツインメッセ静岡貸館事業			
1	南・北大展示場の利用率 48%以上	50.6% (◎)	南館大展示場改修工事の完了、新型コロナ5類移行などと共に、利用者への的確なサポートや積極的な営業を行った結果、前年度の 34.3%から 16.3 ポイント上昇した。
地場産業支援事業			
2	展覧会及びコンペティションへ2点出品	1点 (△)	目標値には届かなかったが、工芸展の最高峰である日本伝統工芸展での入選があった。
3	「産業フェアしずおか」来場者、出展者の満足度 90%以上	来場者満足度 99% 出展者満足度 82% (○)	ブース配置の変更を試みたため、出展者満足度は目標値に届かなかった。
都市型産業支援事業			
4	下記3項目の合計数 40件以上 新規創業者数 新商品開発数 新分野進出件数	新規創業者数 34件 新商品開発 10件 新分野進出 9件 計 53件 (◎)	窓口相談を中心に新規創業者数は順調に推移。飲食店及び医療介護系施設の開業支援が増加。
5	IT関係の専門家(専門 家派遣事業)を確保 2名以上	5名確保 (◎)	新規登録専門家数 11名 登録専門家数総計 117名
6	産学連携コーディネータ相談対応件数 100件以上、 産学官金連携、異業種 交流マッチング件数 2件以上	101件 (◎) 5件* (◎)	*マッチング内訳 ・Grandfarm(株)×プラス産業(株) ・テイボー(株)×浜松工技支援センター ・静岡小型メタン発酵組合×ガイアフロー(株) 他2件

	令和5年度計画	実績（※評価）	説明等
長期的な視点に立った施設の保全管理			
7	立体駐車場の計画 修繕の実施 駐車場管制システム の動向調査	駐車場屋上の防水修繕 を行った。また、管制 システムの動向調査を 行った。 (◎)	管制システムの更新に向けて、最適な 管制システムの方針決定のため他施 設の調査を開始した。
財政基盤の強化と健全な財政運営の推進			
8	基本財産収入(ツイ ンメッセ静岡) 4億2,000万円以 上	賃貸料収入 3億8,866万円 駐車場収入 4,998万円 計 4億3,864万円 (◎)	コロナ禍が収束し人数制限が撤廃さ れたほか、南館大規模改修も完了し、 通常どおりの利用が再開された。 また、新規顧客の獲得も好調であっ た。
組織づくり・人材づくり			
9	職員の希望する研 修の再確認、受講手 順の整備と職員へ の周知	職員が希望する研修の 再確認を行った。 (○)	職員に対して実施したヒアリング結 果を基に、職員が希望する研修を令和 6年度受講に向けて調査した。
10	整備が必要な規程 等の確認作業を行 い、整備後順次施 行。	確認作業を行った結 果、3件の見直しが必要 となった。 (◎)	「定年延長」の整備及び「会計事務処 理要綱」「就業規定（再雇用）」の見 直しが必要となり、令和6年度に整備 することとした。

※評価の表示

◎＝達成（100%以上） ○＝ほぼ達成（90%以上） △＝未達成（90%未満）

1 公益目的事業

(1) 産業及び地域の振興・交流拠点事業（ツインメッセ静岡）

地域産業の経済活動支援や人材育成事業など、公益を目的とした事業のため、地場産業団体、地元中小企業や国、県、市などの行政機関に展示場及び会議室を貸与し、地元中小企業の振興に寄与した。

① 展示場及び会議室等の貸与

本年度は、長引いた新型コロナウイルス感染症や前年度に実施した南館大規模改修による休館の影響を受け低迷した利用率の回復を目指し積極的な営業を行った。

B to B 展示会やB to C 催事はコロナ禍前の状況を取り戻し、5月には南館大規模改修後初のイベントとなった「静岡ホビーショー」が開催されたほか新規利用者の獲得も好調であった。

展示場における公益目的の催事件数は198件で、コロナ禍前の水準までは回復していないものの、前年度の135件と比較して63件の増加となり回復傾向にある。また、収入額から算出される公益目的事業比率は76.7%であった。

【主な展示場利用】 ※地場産業団体、一般企業等の利用

催 事 名	使用期間
第61回静岡ホビーショー	5/7～14
シズオカ [KAGU] メッセ 2023	5/30～6/6
静岡優良ツキ板展示大会（第68回・第69回・第70回）	6/6～8、11/13～15、3/5～3/7
第8回 TOKUDEN 展示会	6/28～30
しんきんフェア静岡 2023	9/7～8
2023 駿河機械加工システム展	9/19～22
ホビーのまちクリスマスフェスタ 2023	11/30～12/3
TGC しずおか 2024 by TOKYO GIRLS COLLECTION	1/10～14
第44回静岡どてらい市	3/13～17
Shizuoka Shoes Factory SALE	3/22～23



静岡ホビーショー
小中高生招待日では子供たちが
ミニ四駆体験に夢中になった。



第44回静岡どてらい市
コロナ禍前と同様のフルサイズで
開催することができた

【主な展示場利用】※国、県、市等の利用

催 事 名	使用期間
令和 5 年度 静岡市職員採用試験	6/17～18、9/23～24
第 18 回若年者ものづくり競技大会	7/28～8/3
登録販売者試験（一般用医薬品販売の国家資格試験）	9/5～6
静岡市新型コロナワクチン集団接種会場	9/19～9/29
令和 5 年第 57 回通関士試験会場	9/30～10/1
静岡県介護支援専門員実務研修受講試験	10/7～10/8
SDG s COLLECTION supported by T G C しずおか 2024	1/11～14
令和 5 年分静岡・清水税務署合同確定申告会場	2/5～3/18



第 18 回若年者ものづくり競技大会
全国から若手職人が集い技術を競い
あった。



SDG s COLLECTION supported by TGC
しずおか 2024
TGC しずおか 2024 と同時開催で SDG s
を P R した。

(2) 地場産業支援事業

ツインメッセ静岡内に設置されている地場産業支援設備や開館後に蓄積した事業実施のノウハウを活用し、静岡市や地場産業関連団体・施設等との連携を強化することで、地場産業の抱えている課題解決に向けた支援を行い、地場産業の振興に寄与した。

① 新製品、新技術支援及びデザイン開発支援事業

<ニューウェーブ「しずおか」創造事業>

地元製造業者の新商品開発へのチャレンジを支援するため、地元製造業者とデザイナーとのマッチングを行い、デザインの力を活用した新商品開発を行った。

この開発商品は、令和6年2月の「東京インターナショナルギフトショーLIFE×DESIGN」で展示発表した。実用化商品の販売促進のほか、テストマーケティングの場として活用され、参加者からは開発商品の販売価格決定や今後の商品改良についてバイヤー等からのダイレクトマーケティングができたなどの意見もあり、有意義な出展になった。

ニューウェーブ「しずおか」創造事業
と販路開拓・PR事業共同で出展した
ギフトショーの様子



【令和5年度開発商品】



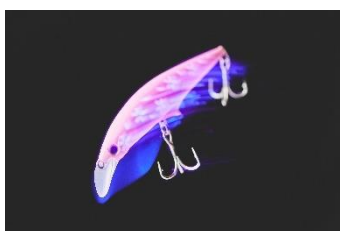
富士護謄産業(株)
×
memori



(株) 水鳥工業
×
EETY Studio



杉本家具(株)
×
Pit-A-Pat



(株) ジャクソン
×
SANAGI design studio



ZEROMISSION
×
HITOSHI MAKINO Design

※上段：参加企業
×
下段：参加デザイナー

◆展示発表会

「東京インターナショナルギフトショーLIFE×DESIGN」

- ・期 日 令和6年2月6日（火）～8日（木）
- ・会 場 東京ビックサイト

成 果 目 標	結 果
開発商品の実用化件数2件（経営計画目標）	3件
展示会での商談件数40件（経営計画目標）	55件

※地場産業販路開拓・PR事業と共通の目標

<地場産業販路開拓・PR事業>

当協会の地場産業支援事業で開発、製作した製品のアフターフォローを行う事業で、過去の参加企業や団体、個人事業者等に対し、取扱商品の販路開拓やPRの場を提供し継続的な支援を行っている。

本年度は6月の「インテリアライフスタイル」に2年連続で出展した。また2月には、ニューウェーブ「しずおか」創造事業と共同ブースで「東京インターナショナルギフトショーLIFE×DESIGN」に出展した。

2年連続で出展した
インテリアライフスタイル

◆展示会

「インテリアライフスタイル」

- ・期 日 令和5年6月14日（水）～16日（金）
- ・会 場 東京ビックサイト
- ・参加事業者 市川製箱業、canary104、(株)挽物所 639、岸本挽物



「東京インターナショナルギフトショー LIFE×DESIGN」

- ・期 日 令和6年2月6日（火）～8日（木）
- ・会 場 東京ビックサイト
- ・参加事業者 大日三協（株）、(株)S スズキ技研工業、canary104、岸本挽物

成 果 目 標	結 果
開発商品の実用化件数2件（経営計画目標）	3件
展示会での商談件数40件（経営計画目標）	55件

※再 掲

<若手職人支援プロジェクト>

静岡の伝統工芸、ものづくり産業の未来を担う若手職人グループ・するがクリエイティブを支援するもので、本年度は、小田原・箱根地区で活動されている職人グループを招き、するがクリエイティブメンバーの工房見学やワークショップ等の体験を行い交流を深めた。

成 果 目 標	結 果
交流イベント参加者の満足度 90%以上	100%

② 人材養成、人材確保推進事業

<伝統工芸技術保存講習会>

伝統工芸業界の後継者を対象に講習会を開催し、伝統技術の継承及び新技術の習得を支援した。

受講生のうち、木工の部に参加している細井敏之氏が、日本最高峰の工芸展である「第70回日本伝統工芸展」へ出品し入選を果たした。

	開催日数	講 師	受講者数	内 容
漆器	20 日	安藤嘉津夫 氏	10 人	乾漆
竹工の部	11 日	大村俊一 氏	6 人	輪弧(リンコ)編み
木工の部	17 日	松島富蔵 氏	6 人	刳物(クリモノ)
蒔絵の部	20 日	大内啓三 氏 鈴木則次 氏	8 人	蒔絵加飾
拭漆の部	10 日	安藤嘉津夫 氏	5 人	拭漆実習

講習会の授業風景
(木工の部)



入選作
細井敏之氏作
「スツール」



成 果 目 標	結 果
展覧会及びコンペティションへの出品 2 点 (経営計画目標)	第 70 回日本伝統工芸展への出品 1 点 (入選)

<静岡ものづくり支援事業>

地場産業におけるものづくり関係者を対象に、地域産業の抱える課題の解決につなげるための講演会及び講座の開催、展示会への出展等を実施した。

◆公開講演会

地場産業従事者を対象に、全国各地でデザインによる地域の課題解決など多方面で活躍している若杉浩一氏を講師に招聘し、スギに着目して利活用を促す「日本全国スギダラケ倶楽部」の活動内容や静岡におけるスギの可能性など木と地域の結びつきとデザインの相互関係について学んだ。

- ・期 日 令和6年3月8日（金）
- ・会 場 ツインメッセ静岡 会議室 409
- ・テーマ 「木と地域のつながり」～スギの可能性・社会を美しくするデザインの関わりあい～
- ・講 師 若杉浩一氏（武蔵野美術大学 造形構想学部教授・デザイナー）
- ・参加者 33 名



スライドに身振り手振りを交えて、これまでの活動を紹介いただいた

◆実践講習会

地場産業関係者を対象に、昨今話題となっている ChatGPT(生成 AI)について、地場産業にどのように応用できるか等を、実際にパソコンを使用しながら実践型の講座を実施した。参加者からは、「講座で学んだ操作方法を活用して、事務作業を中心とした作業の効率化につなげたい」等の意見があり、地場産業界関係者にデジタル技術の活用を考えてもらう契機となった。

- ・期 日 第1回 令和6年2月19日（月）
第2回 令和6年2月26日（月）
- ・会 場 ツインメッセ静岡 北館3階 第3小展示場
- ・テーマ 地場産業界における ChatGPT 活用講座
- ・講 師 中村俊也氏
(株式会社ラーニングライト代表取締役)
- ・参加者 12 名



操作のコツを参加者に実際に使用してもらいながらレクチャー

◆技術プロモーション支援

静岡の木工技術をPRするために、3月に京都・みやこめっせで開催された「京都インターナショナルギフトショー WAZA博」に3年連続で出展した。前年に引き続き、来場者からは試作依頼や量産品制作についての相談を受けるなど、関西圏での認知度が上がっていることが確認でき、継続出展の効果を感じられた。

「京都インターナショナルギフトショー WAZA博」

- ・期 日 令和6年3月6日（水）・7日（木）
- ・会 場 みやこめっせ
- ・出展企業 岸本挽物（木工挽物）
KOZOU HAKOSTYLE（木工指物）



静岡の木工技術をPR

成 果 目 標	結 果
講演会の参加者数 30 名以上	講演会の参加者 33 名

③ 「産業フェアしずおか」開催事業

本年は、「集まれ！SHIZUOKA 応援団」というテーマのもと、静岡市の産業を「見て・触れて・体験する」機会を提供し、来場者に静岡市地場産品のファン、そして応援団になってもらうことを目的に開催した。

地場産業、農・林・水産業、観光、企業の各ゾーンでは、展示・PR・販売等を通じて、来場者に各産業や産品に触れていただき、地場産品の魅力を発信した。

さらに、子供たちにもプラモデル工作や木製椅子作りなど地場産業に関連した体験コンテンツを充実させ次世代の地場産業を担う世代への啓発にも力をいれた。

また、前年好評だった中部横断道周辺地域との経済交流を深めるため、上越市、佐久市、甲府市等が参加した「中部横断道交流物産ストリート」を実施した。

フェア全体の出展者数は、新型コロナウイルス感染症拡大前に迫る 185 団体が出展し盛況だった。

- ・期 日 令和5年11月25日（土）・26日（日）
- ・テーマ 「集まれ！SHIZUOKA 応援団」
- ・会 場 ツインメッセ静岡
北館大展示場、南館大展示場 他
- ・出展団体 185 団体
- ・入場者数 34,300 人



屋外を利用した
中部横断道物産ストリート



北館大展示場
会場観覧・林業ゾーンの様子



南館大展示場
農業・林業・水産業・企業ゾーン
の様子

成 果 目 標	結 果
来場者満足度 90%以上（経営計画目標）	99%
出展者満足度 90%以上（経営計画目標）	82%

④「ものづくり産業体験事業」に対する協賛金交付事業

本年は、応募のあった静岡模型教材協同組合が実施した「第 61 回静岡ホビーショー 小中高校生招待日」に対して、助成を行った。

⑤ ものづくり業界活性化イベント開催支援

静岡市やものづくり関連イベントである「ファクハク」、「共生」、「産業フェアしずおか」と連携し、静岡の「ものづくりの技」を広く周知するための工場見学バスツアーを開催した。また、イベント情報を集約したポータルサイトを立ち上げ、それぞれのイベントの情報発信、工場見学バスツアーの募集、告知などを実施した。



バスツアーでの工
場見学の様子



静岡ものづくり Days
ポータルサイト

成 果 目 標	結 果
オープンファクトリーやワークショップなどのイベントの実施（経営計画目標）	静岡市やものづくりイベントと連携して、技術をPRするための工場見学バスツアーを実施した。

(3) 都市型産業支援事業

静岡市産学交流センターの指定管理業務を受託(*1)し、次代を担う本市を代表する産業を生み出すこと、及び、世界、全国に挑戦する中小企業の振興を図ることを目指して、創業支援、マーケティング支援、産学連携など各種事業を行った。

*1 平成 30 年度からは清水産業・情報プラザの管理者である静岡商工会議所と施設管理共同事業体を結成し受託

① 創業者支援事業

資本や人材等の経営資源に乏しい創業者がスムーズに事業を開始し、独り立ちするための支援として、経営相談・指導及び事業機会拡大のための各種事業の企画・実施並びに創業者支援セミナーを開催した。

<創業・経営相談>

創業希望者や創業後間もない事業者及び中小企業者等を対象に、創業や経営に関する悩みや課題解決に向け、プロジェクトマネージャーをはじめとする支援スタッフ・窓口相談員が経営相談、事業指導を行った。

成 果 目 標	結 果
相談件数 200 件	214 件

<大学等起業家育成支援事業>



静岡デザイン専門学校での授業風景

大学や高等学校等の学生を対象に、創業マインドを醸成するため「ビジネス実践講座」を実施した。なぜ創業について学ぶのか、ビジネスにおけるアイデアの出し方、事業化・資金計画の策定の仕方等の基礎的知識の習得の場を提供することで、学生にとって、選択肢としての「創業」や、「就業」「会社の仕組み」等への理解を深める機会となった。

実施大学等の名称	実施回数	参加者数
静岡大学	3 回	10 名
静岡英和学院大学	3 回	13 名
静岡デザイン専門学校ファッションビジネス科	3 回	29 名
静岡デザイン専門学校プロダクトデザイン科	3 回	18 名

静岡県立静岡商業高等学校	3回	7名
静岡県立科学技術高等学校	1回	40名
静岡市立高等学校	1回	320名
常葉大学附属橘高等学校	6回	68名
合計（7校）	23回	505名

成果目標	結果
大学等5校、高校5校の参加者を確保	実施校：大学等3校（4学科） 高校 4校（4学科）

実施校は目標より少なかったが、各校に対する支援を強化するなど、授業の質の面では充実が図られた。

<創業者育成支援室運営等事業>

平成30年3月末に『SOHOしずおか』が解散したことに伴い、それまで行っていた事業を同年4月以降、当センターが引き継いでいる。

◆ビジネスプランコンテストの実施

静岡県内で新規に事業展開を目指す事業者及び学生を対象に、起業家精神の高揚と柔軟な発想力・独創性に富む人材の発掘、中小企業における新製品・新サービス開発促進の支援を目的として、「しずおかビジネスプランコンテスト」を開催した。

この事業は、ビジネスプランの作成から事業の立ち上げまで、一貫した支援体制が特徴となっている。

最終審査会での会場参加は発表者、審査員等関係者のみとし、一般視聴者向けにはYouTube動画にてライブ配信を行った。



審査員とコンテスト入賞者による記念撮影

○ 開催スケジュール

- ・募集期間 令和5年7月1日(土)～10月18日(水)
- ・書類審査 令和5年11月8日(水)
- ・プレゼン審査 令和5年12月1日(金)・2日(土)
- ・最終審査会 令和6年2月14日(水)

○ 応募件数等

- ・応募件数 74件（一般部門11件、学生部門63件）
- ・入賞件数 9件（一般部門4件、学生部門5件）



学生が考えたビジネスプランの発表を熱心に聞く聴講者たち

◆創業者育成室の運営

創業者の事務所開設の経費負担や創業後の経営を支援するため、インキュベーター施設である創業者育成室の効果的な運営管理を行った。

◆ブレイクスルーセミナー

創業希望者や創業者、中小企業者を対象に、課題解決や事業の躍進などを目的として、専門家や経営者等を講師に迎え、“気づき”のためのセミナー（勉強会）を実施した。

講座名	内 容	参加者数
ブレイクスルーセミナー (2回)	・対面式「生成 AI・ChatGPT ビジネス活用入門講座」 講師：B-nest スタッフ 中村俊也 氏 ・対面式「起業で世界を変える！音楽・スポーツイベントで地域の未来を切り開く」 講師：(株)Sonoligo 代表取締役 遠山寛治 氏	延べ 133 名
入居者セミナー SOHO しずおか 勉強会 (3回)	・対面式「年金セミナー」 講師：みな司法書士法人 代表司法書士・社会保険労務士 槇田由美 氏 ・対面式「NISA(少額投資非課税制度)で始める資産づくり」 講師：若葉マークの株式投資 代表 福沢隆雄 氏 ・対面式「スマホをもっと賢く、安全に！最新セキュリティと便利な使い方」 講師：スマホサポートしずおか 代表 高橋史郎 氏	延べ 104 名



令和5年12月開催

SOHO 勉強会
福沢隆雄氏 講演

◆「起業スタートアップ塾」(2回開催/参加者延べ61名)：対面式創業間もない受講者や創業に関心のある受講者に対し、SNSの活用方法に特化したセミナーを開催した。地元で活躍する起業家をゲストに迎えて意見交換を行うほか、ビジネスにおけるSNSについての講義を行った。

- ・講 師 (株)るるキャリア 代表取締役 内田美紀子 氏
(株)プラス・プレスト 取締役 増田郁理 氏
- ・ゲスト フォーシーズン代表 望月やすこ 氏



「起業スタートアップ塾」

熱意ある方々が集まり、
ワークショップでは積極的な
意見交換が行われた。

◆創業支援セミナー(全6回連続講座/申込者 30 名)

＊男女共参加可、対面式、参加者延べ 133 人

創業予定者を対象に、B-nest 経営応援団(中小企業診断士)による創業セミナーを開催した。マーケティングの基礎知識や資金計画の立て方、ビジネスプラン作成等の講義のほか、当センターと関わりの深い創業者をお招きし、創業前後の実体験を語っていただくことで、参加者から好評を博した。

・ゲスト (株)はなうた 代表取締役 望月恒彦 氏

Varios 株式会社 代表取締役 石 光(せき ひかり) 氏

キャリアモデル開発センター静岡 センター長 宮崎弘司 氏

成 果 目 標	結 果
ビジネスプランコンテスト 応募件数 80 件	74 件

② マーケティング支援事業

創業者、中小企業者、従業員に対し、マーケティング発想を醸成する目的で、マーケティングに必要なスキル習得を支援する「マーケティング支援講座」等を開催した。

＜マーケティング支援講座(セミナー・研修・講座の企画・実施)＞

コロナ禍収束に伴い、昨年度に比べ対面式を増やしてセミナーを実施した。また、内容により対面式、オンライン、対面式とオンラインを複合したハイブリット方式を使い分け、それぞれの良い部分を生かしたセミナーを開催した。

リーンローンチパッド実践編は、昨年度に引き続き全講座を対面式で実施することができた。ワークショップや発表が多い実践的な内容であるため、オンラインより対面式が望ましいと感じられた。

講座名	内 容	参加者数
マーケティング支援講座(7回)	マーケティングの発想から現場での集客に至るまで、バラエティに富んだ講座を実施し、講師の実体験を交えた具体的な内容をお伝えし、受講者へ新たな気付きの場を提供。 ・「見えない価値で顧客を引きつける サービスのマーケティングを考えよう」 講師：静岡県立大学教授 岩崎邦彦氏 ・「物価高に負けない！小さな会社の売上アップ術」 講師：(有)いろは 竹内謙礼氏 ・「ゼロから1,000社を新規開拓した法人開拓マーケティング」 講師：(株)Office TV 藤原智浩氏 ほか4講座	延べ 585 名
特別編(6回)	・「インボイス制度で何をどうすればいいのかお伝えします！」 ・「ゼロからわかるリーンスタートアップ」(※1) ・「デザイン思考ワークショップ」 ・「リーンローンチパッド実践編」3回(※2)	延べ 174 名

※1 新事業で、早く安く失敗して迅速に軌道修正しながら顧客開発モデルを構築すること

※2 新事業で、仮説検証を繰り返しながら効率的に事業を立ち上げる手法。

なお、リーン(lean)とは「筋肉体質」「無駄がない」という意味。



リーンローンチパッド実践ワークショップ



マーケティング支援講座の様子

成果目標	結 果
講座受講者による満足度割合 90%以上	97%

＜静岡おみやプロジェクト＞

地域資源を活用した“静岡の新しいお土産”の開発を目指し、静岡市内の食品事業者がマーケティングのノウハウやスキルを学びながら、約10ヵ月をかけて商品開発を行い、販路開拓から販売まで当センターが支援した。

第15回目となった本年度は、「ブランド力を高める新商品開発！」と題して、近

年のトレンドに合わせるとともに、消費者へ訴求した商品開発を検討していくプログラムを実施した。

実績として下記の6点の商品を開発した。



静岡おみやプロジェクト
戦略開発シミュレーション



産業フェアしずおか 2023 で
成果をお披露目

○取組内容

- ・勉強会／10回 ・個別相談会／10回
- ・消費者モニターによる試食評価会／1回
- ・専門家による試食評価会／1回
- ・成果発表会

開催日：令和6年3月6日 場所：静岡市産学交流センター

一般向けおよびバイヤー招致による交流会 （参加人数 37名）

◆販売促進関連事業

- ・「B-nest 食のフェスティバル」実施

開催日：令和6年3月20日（水）、21日（木）

場 所：エスパルスドリームプラザ エスパルススクエア（静岡市清水区）

出店者：令和5年度「静岡おみやプロジェクト」参加事業者含む全10者が参加

【令和5年度開発商品】



成 果 目 標	結 果
新商品開発 5 件以上	新商品開発 6 件

③ 産学連携事業

大学等(学術界)が保有する高度で専門的な知識や技術等を、市内の企業(産業界)が活用できるよう橋渡しをした。

<産学連携コーディネータによる産学連携推進>

産学連携コーディネータによる相談、大学・研究機関または企業への橋渡しを実施した。

今後も更なる支援強化に向け、引き続き各大学と産学連携コーディネータとの連携強化を図り、マッチング件数の増加に努めていく。



産学連携コーディネータの企業視察会を通じて
先進技術を研鑽し橋渡しをする

業 務	内 容	開催回数等
産学連携コーディネータ 相談	企業が抱える問題、課題等への相談	相談件数 101 件
静岡地域産学連携コーデ ィネータ会議	静岡大学、静岡県立大学、東海大学海洋学 部、(公財)静岡県産業振興財団、静岡県工 業技術研究所、静岡市清水産業・情報プラ ザ、静岡市経済局産業振興課、マリンオー プンイノベーション機構、しずおか焼津信 用金庫、静岡市産学交流センターのコーデ ィネータとの情報交換	全 6 回
事例セミナー、講演会の 開催	・第 146 回「産学官交流」講演会・交流会 発表者：静岡理工科大学	参加者 41 名

企業及び大学見学会の開催	・静岡県工業技術研究所浜松工業技術支援センター	参加 20 名
	・テイボー(株)MIM 開発センター	参加 20 名
	・インダテック(株)	参加 14 名
	・はごろもフーズ(株)新清水プラント	参加 22 名
	・清水河岸の市(缶詰自販機テスト現場視察)	参加 22 名

◆産学官金連携、異業種連携のマッチング

- ・GrandFarm(株)／プラス産業(株)：モールド加工技術による農産副産物を利用するセルトレイの試作
- ・テイボー(株)／浜松工技支援センター：金属 3D プリンターを活用した技術開発
- ・静岡小型メタン発酵組合／ガイアフロー(株)：ウィスキー蒸留廃液のメタン発酵実用化プラントの設置 他 2 件

成 果 目 標	結 果
相談件数 100 件以上（経営計画目標）	相談件数 101 件
産学官金連携、異業種連携のマッチング件数 2 件以上（経営計画目標）	マッチング件数 5 件

<地域課題に係る産学共同研究委託事業>

静岡市が重点的に振興を図る戦略産業分野(*1)で、中小企業者や各団体が大学等と共同で行う新製品の開発・事業化、新たな事業への進出や社会・経済・環境の変化に対する取組等（調査・研究・開発事業等）を支援した。

なお、令和 6 年 3 月 22 日に実施した成果発表会は、会場での発表とオンライン方式でのオンデマンド配信を並行して行った。

- *1 ①食品・ヘルスケア ②海洋・エネルギー ③観光・ブランド
④文化・クリエイティブ ⑤清水港・ロジスティクス
⑥その他地域活性化・新産業創出に関連する分野



8 か月間に渡る研究の成果を発表する参加事業者（左）と成果物の展示（右）

研究事業		分野	企業 (中心団体)	大学
基礎コース *2	究極のメイドイン静岡・マグロ肥料を用いた静岡茶の高付加価値化	⑥	伊豆川飼料(株)	静岡大学学術院農学領域
	農産副産物を活用した新規な育苗セルトレイの開発と性能評価	⑥	GrandFarm(株)	静岡県立農林環境専門職大学
	AIの利用によるスキルに基づく従業員配置自動化の研究	⑥	栗田静電(株)	静岡理工科大学総合技術研究所
	トマトに共生する微生物の分離と植物病原菌防除への応用	① ⑥	(株)テクノスルガ・ラボ	静岡大学農学部
	昆虫でヒラメとアワビは育つか？ -循環型養殖事業の社会実装を目指して-	① ②	(株)マルカイ	静岡大学農学部
応用コース *3	静岡の薔薇を使ったピュアローズウォーターの開発	①	(株)コーヨー化成	常葉大学健康プロデュース学部
	有機性汚泥の可溶化・メタン発酵技術によるバイオガスエネルギー変換プロセスの開発	⑥	山梨罐詰(株)	創価大学プランクトン工学研究所 理工学部
発展コース *4	由比漁港周辺海域における養殖アカモクのビジネス展開	① ②	おいしい産業(株)	
	アフター・コロナ時代におけるインバウンドを含む観光客向け缶詰の自販機販売の事業化と新製品コンセプトづくり	① ③	清水河岸の市協同組合	静岡産業大学総合研究所経営学部

*2 基礎コース（委託限度額 100 万円）では、主に、「調査研究や技術・サービスの向上」に係る課題で、新たな提案と具体策が見込め、将来性が期待できるものを採択した。

*3 応用コース（委託限度額 200 万円）では、主に、「ものづくり系」に関する課題で、基礎的な研究が既にできているもので、事業終了時に必ず試作品ができ、数年内に実用化（商品化）が見込めるものを採択した。

*4 発展コース（委託限度額 100 万円）では、基礎コースまたは応用コースを経験した後、数年内の課題で、研究が既に終了し、実用化（商品化）を目的とするものを採択した。

*5 製品化の内訳：

・オリジナル「静岡チーズ」の商品化

（うしづまチーズ工場：販売中・・・令和2年度（基礎コース）

・マグロバー「TUNAPLUS+」の商品化

（(株)ディ・エッチ・エー マリンフーズ：販売中・・・平成30（応用コース）、令和2（発展コース）

・アカモクとそのレシピ商品の販売

（おいしい産業(株)：販売中・・・令和2（基礎コース）、令和3（応用コース）、令和5（発展コース）

・缶詰自販機におけるツナ缶新製品

（清水河岸の市協同組合（山梨罐詰(株)）・・・令和4（基礎コース）、令和5（発展コース）

成果目標	結果
成果事例（実用化、補助金獲得等） 2件以上	4件（*5）

④ 情報提供事業

当センターの認知度の向上と利用者の拡大に向けて、起業者及び中小企業者等に対して、当センターや他の産業支援機関等の情報を分かりやすく提供した。

＜ホームページ・メールマガジン・広報誌等による広報事業＞

当センター、国・県・市等の各行政機関及び産業支援団体等の産業支援に関する情報について、ホームページ、メールマガジン、ブログ、Facebook、YouTube や広報誌「B-nest FACE」等の媒体により、分かりやすくタイムリーな情報発信を利用者に提供したほか、メディアへの当センターの掲載回数増にも注力した。

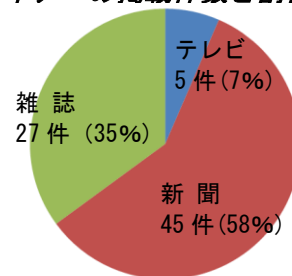
特に Facebook と YouTube での情報発信が好調で、Facebook のフォロワー数、YouTube のチャンネル登録者数が増加した。

メールマガジンの新規登録については、講座やセミナーの開催が会場参加型にもどってきたこともあり、登録者数が伸びずに目標未達となった。

メディアへの掲載件数と割合

成 果 目 標	結 果
メールマガジン新規登録件数 250 件	206 件

(参考) 令和 5 年度末メルマガ登録件数 3, 187 件
(前年比+39 件)



＜ラウンジ等における情報提供＞

当センターのラウンジ等にて、「静岡おみやプロジェクト」「産学共同研究委託事業」等で新たに開発された製品の展示や、それらに関する情報を提供した。

また、国・県・市等の各行政機関、他の産業支援団体及び大学等の産業支援施策の情報の一元的な提供にも努めた。

⑤ 施設提供事業

＜貸会議室業務＞

中小企業や大学等の打合せや研修会、講演会等に施設の貸出しを行なった。

利用者から要望があった「ネットによる予約」、「利用料金の銀行振込」を可能にするため、新予約システムを導入した。

利用料収入は、空調設備が故障したため演習室 1～3 を 80 日間貸出停止としたが、静岡市による大会議室の年間利用（静岡市コ・クリエーションスペース）があったため、利用料収入は 2, 266 万円となり前年度（2, 268 万円）とほぼ同額であった。

- ・利用件数 2, 036 件
- ・開館時間 月曜日～土曜日 9 時 30 分～22 時 00 分

＊ただし、休館日（日曜日、国民の休日及び 12 月 28 日から翌年 1 月 5 日）を除く。

【会議室の利用状況】

区分 年度	開館日数 (日)	来場者数 (人)	来場者数内訳(人)			利用 コマ数	総 コマ数	平 均 利用率※ (%)
			会議室 利用者数	相談者数	日平均			
R5	290	38,172	37,159	1,013	132	5,423	11,600	46.8

※平均利用率＝利用コマ数÷総コマ数（各室1日5コマ×全8室×開館日数）×100

※7/6～10/31までの80日間空調設備故障のため貸出停止

成 果 目 標	結 果
産学交流センターの施設使用料収入 2,200万円以上	2,266万円

(4) 中小企業支援センター事業

静岡市から中小企業支援センターの指定法人の指定を受け、中小企業が抱える様々な課題に対して診断・助言を行うなどの各種事業を実施した。

① 窓口相談等事業

中小企業者や創業を目指す事業者の課題解決のために、経営の専門家である中小企業診断士で構成する窓口相談員（B-nest 経営応援団）を中心に、経営相談、マーケティングアドバイス、創業相談を行った結果、都市型産業支援事業との連携効果もあって、第2次中期経営計画で設定した新規創業者数等の目標を上回る成果を上げた。

また、令和4年4月からは、毎週土曜日をIT専門家によるWEBマーケティング相談日として、ECサイトやWEBマーケティングに関する創業者や中小企業の要望に対応している。

<B-nest 経営応援団による相談>

○窓口相談員の配置

- ・中小企業診断士5名（経営、資金計画、販路開拓、現場改善、キャリア開発等）
- ・IT専門家4名（ECサイトやWEBマーケティングに関するさまざまな課題）

○開設時間

- ・月曜日から金曜日 13時から19時（中小企業診断士）
- ・土曜日 10時から17時（IT専門家：4名交代制）

○相談件数

- ・687件（令和4年度726件※、令和3年度597件、令和2年度666件）

※令和4年度から、8月から2月の月曜日から金曜日は2時間延長。また土曜日は中小企業診断士を1名増員し、2名体制とした。

成 果 目 標	結 果
下記3項目の合計数 40件以上（経営計画目標）	
新規創業者数	新規創業者数 34件
新商品開発数	新商品開発数 10件
新分野進出件数	新分野進出件数 9件
	計 53件

② 専門家派遣事業

中小企業者が抱える様々な課題の解決に向けて、適切な診断・助言を行うため、当センターに登録された民間の専門家を事業者に派遣した。

専門家派遣事業についても市の補正予算による補助金額の増額により、派遣枠を拡大した。

- ・実施分野 経営全般・情報化・マーケティング・デザイン等
- ・実施回数 143 回／29 社
- ・登録アドバイザー（専門家） 117 名

成 果 目 標	結 果
I T 関係の専門家を新たに 2 人以上確保 (経営計画目標)	新規 I T 専門家登録者数 5 人 (新規登録者数 11 人)

③ 新連携・地域資源活用プログラム等、利用支援事業

国が進める「新連携」や「中小企業地域資源活用プログラム」等の国庫補助制度の採択に向け、静岡市における地域資源や企業の技術・ノウハウを活かした新製品・新サービスの開発、事業化の推進について、他の支援機関と連携を図りながら支援した。

<地域資源活用プログラム支援>

- ・水見色きらく市 --- 水見色地区の農産物を活用した新商品の開発及びパッケージデザイン制作
- ・製茶問屋山梨商店 --- 県内産茶葉を活用した自社製品の販売を促進する菌検査の実施
- ・有限会社石井育種場 --- ケールスティックの販売促進に係るパンフレットの製作
- ・モクサンプルカット株式会社 --- 災害時の被災者支援を目的とした「木質デッキ」の開発

④ 中小企業等販路開拓支援事業

中小事業者・個人事業者を対象に、WEB マーケティング等のスキル習得を図るため、新たにミニワークショップ「ちょこっと WEB マーケ塾」を試験的に開催した。

ここ数年、ホームページや SNS 活用、生成 AI・ChatGPT などに対するニーズが相当高まっているため、初級者・中級者を対象にワークショップ形式で行った結果、毎回安定的に集客も確保でき、当センターの今後の活動領域について一石を投じたものとなった。

【ちょこっと WEB マーケ塾 全 16 回】

	開催日	内 容	講 師	参加数
1	4/25	Canva で作るバナー画像作成講座	杉本 由美氏	23 名
2	5/17	E C モール「楽天市場」の攻略法	朝原 伸之氏	7 名
3	6/1	はじめての WEB ライティング	勝山 俊輔氏	14 名
4	6/19	はじめての YouTube 撮影	匂坂 秀樹氏	20 名
5	7/3	はじめての YouTube 編集	匂坂 秀樹氏	16 名
6	7/25	はじめてのノーコードアプリ製作	高橋 史郎氏	9 名
7	9/13	無料で簡単！はじめての商圏分析	峯尾 喜一氏	11 名
8	9/27	MieNa を使って出店場所を探してみよう (御幸町図書館連携)	長谷 彰氏	13 名
9	10/12	Google マップを活用してみませんか？	勝山 俊輔氏	8 名
10	11/9	SNS 運用プラン初級講座	増田 郁理氏	18 名
11	11/27	スマホ写真のコツ講座	望月 やすこ氏	15 名
12	12/8	「ペライチ」で 1 枚型 HP を作ってみよう	杉本 由美氏	10 名
13	1/23	不安解消！自己流からの脱却！WordPress ブログ上達講座	小関 弥生氏	15 名
14	2/7	X (Twitter) のビジネス活用入門講座	山崎 啓輔氏	17 名
15	2/19	ChatGPT 入門ワークショップ	堀優 里風氏	15 名
16	2/27	はじめての画像生成 A I 体験講座	鈴木 知恵氏	25 名

※参加者延べ 221 名 満足度 93.1%



Canva で作るバナー画像作成講座



はじめての YouTube 撮影

成 果 目 標	結 果
セミナー・ワークショップ開催回数 10 回程度	16 回
販売会開催回数 1 回以上	1 回 (*1)

(*1) 3 月 20 日、21 日エスパルスドリームプラザで実施 (前掲)

⑤ 制度融資関連事務

中小企業者が資金調達のために利用する「中小企業融資制度」の受付事務を静岡市から受託し実施した。令和５年度の融資件数は、前年度が台風による災害対策資金等の融資受付が多かったことから、大幅に減少した。

なお、静岡市の制度融資受付額は、令和４年度は中小企業災害対策資金の新設により前年度実績の３倍増となったが、５年度は通常のペースに戻った。

- ・融資受付件数 634 件（前年度 1,016 件）
- ・申請金額 3,395,892 千円（前年度 10,213,045 千円）

【申請受付内訳】

制 度	件数(件)	金額 (千円)
小口資金	13	36,070
短期経営改善資金	247	1,332,300
産業振興資金	312	1,435,262
創業支援資金	23	75,670
設備投資強化資金	24	275,590
事業承継支援資金	0	0
中小企業災害対策資金	12	228,500
静岡市制度融資 小計	634	3,395,892
保証 (*9)	1,411	
合 計	2,045	3,395,892

※保証は認定事務のみ

(*9) 保証の内訳：（ ）内は前年実績

・セーフティネット保証４号	1,011 件（ 575 件）
・セーフティネット保証４号（台風 15 号）	4 件（ 219 件）
・セーフティネット保証５号	395 件（ 188 件）
・危機関連保証	1 件（ 0 件）
計	1,411 件（ 982 件）

2 収益事業（ツインメッセ静岡）

（1）産業及び地域の振興・交流拠点事業（ツインメッセ静岡）

当協会の経営基盤の安定化を図るとともに、静岡市のM I C Eの拠点として地域活性化を推進するため、公益目的以外(収益事業)にも展示場及び会議室を貸与した。

① 展示場及び会議室等の貸与

本年度は、コロナ禍前から誘致活動を継続していた全国から来場者が訪れるエンターテインメント系のイベントも開催に至り、今後継続的に開催するなど新規利用客獲得の成果をあげた。

会議室は、企業の社員研修や商品説明会などのほか、展示会開催時の控室など幅広く活用された。

展示場における収益事業催事件数は146件で、前年度の96件と比較して50件増加し、ほぼコロナ禍以前の水準まで回復した。また、収入額から算出される収益事業比率は23.3%であった。

【主な展示場利用】

催 事 名	使用期間
新日本プロレス 静岡大会	4/4、3/17
C4LAN 2023 SPRING	4/27～30
SPOPIA シラトリ SKI SNOWBOARD フェスタ 2024	6/16～18
静岡伊藤忠ファミリーフェア	6/23～25、12/8～10
輸入車アウトレットフェア	7/7～9、2/22～25
JT 将棋日本シリーズ 静岡大会	7/21～22
JAM 第25回定期大会	8/30～9/1
Pet 博	9/15～9/18
JET in 静岡	10/20～22、3/8～10
LUSH BOMU	10/21～22
C i S S 決算感謝フェア	3/8～10



Pet 博
愛犬の用品販売やス
テージショーが実施
された



LUSH BOMU
ボクシングとライブ
を融合した新感覚エ
ンターテインメントイ
ベントが実施された

② レストランテナント及び飲料水自動販売機事業

テナント方式によるレストラン、飲料水等の自動販売機、コインロッカー等を設置して、施設利用者・来場者の利便を図るとともに収益の確保に努めた。

サービス施設・設備	数量等	サービス施設・設備	数量等
レストラン	1 店	コインロッカー	31 箱
飲料水自動販売機	23 台	コインコピー機	1 台



3 公益と収益に共通する事業

(1) 利用促進事業（ツインメッセ静岡）

静岡市のMICE推進の中核施設の役割を担う拠点として、にぎわいと活力ある地域づくりに貢献するため、新規展示会の誘致、自主事業の開催等施設利用率の向上を目指し、各種事業に取り組んだ。

<利用者満足度の向上>

地域唯一の産業支援センターとして、産業振興に数多く携わってきた職員が催事開催支援のノウハウを活かし、適切なアドバイスを行い催事の成功に導いた。

また、「利用に関するアンケート」調査を実施し、利用者のニーズを把握すると共に改善可能な案件から着手する事で利用者満足度の向上を図った。

成 果 目 標	結 果
南・北大展示場利用率 48%（経営計画目標）	50.6%

<行政施策と連動した静岡型MICEの誘致>

大規模展示会・催事の誘致のため、するが企画観光局、静岡県文化財団（グランシップ）と共に、海洋関連の展示会を主催するインフォーママーケットツジャパン等への訪問及び情報交換や令和9年に誘致を目指す「全国産業安全衛生大会」へのアプローチを行い関係性の構築に努めた。

また静岡市と共に、海釣り公園開園に合わせて釣りやアウトドア関連の展示会の開催を目指し、地元フィッシング産業メーカー等と情報交換を行い関係性の構築に努めた。

<地域ブランド「模型・ホビー」分野に特化したアプローチ>

静岡市の模型・ホビーの発信拠点の一つとなっている本施設の優位性を活用し、さらに高めていくため、静岡市の推進する「静岡市プラモデル化計画」への貢献を図るとともに、模型・ホビーと親和性のある新分野にアプローチしホビーの裾野を広げる催事の誘致に取り組んだ。

本年度は各分野のキーパーソンと関係性を構築する事ができ、令和6年度にハンドメイドマルシェ、カードゲーム大会、同人誌イベントの誘致に成功した。

成 果 目 標	結 果
誘致検討案件を3件以上確保（経営計画目標）	3件

＜目的とターゲットを明確にした情報発信＞

これまでの情報発信手段より付加価値を付けた情報を施設利用者や来場者に伝えるため、従来の情報発信に加えて、即時性・拡散性が高く利用者数の多いX(旧Twitter)を活用し、現在進行形の旬な魅力ある情報を全国の利用者や来場者へダイレクトに届け、施設のブランド力の向上や利用促進、来場促進につなげた。

また、リピーターや誘致対象者に対して南館大規模改修後の内覧・プレゼンテーション会を開催し利用者に施設の新しい活用方法などを提供した。

成 果 目 標	結 果
X(旧Twitter)のインプレッション数 150,000 件以上 (経営計画目標)	1,347,314 件

(2) 有料駐車場の管理・運営（ツインメッセ静岡）

来場者の利便性を高めるため、有料駐車場の管理運営を行った。

- ・収容台数 立体 587 台・地下 175 台
- ・利用料金 1 時間毎 200 円
- ・駐車場利用台数 ()は前年度

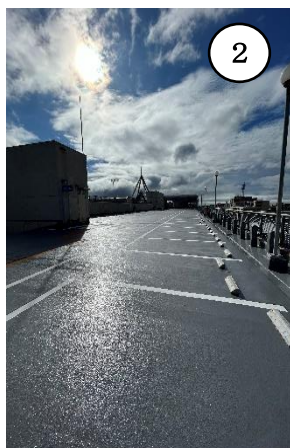
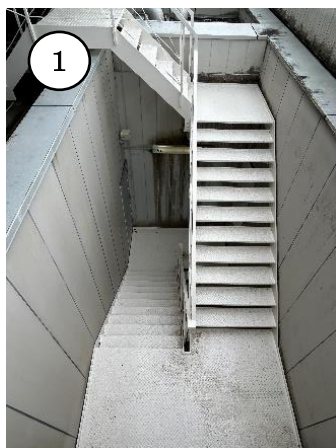
立体駐車場	地下駐車場	計
97,314 台 (85,761 台)	1,523 台 (0 台)	98,837 台 (85,761 台)

※前年度の地下駐車場は、南館大規模改修のため利用なし。

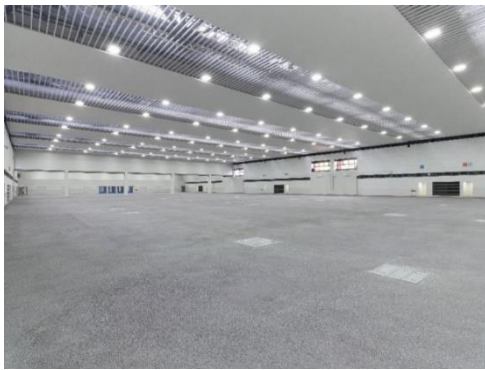
(3) 施設整備・修繕等（ツインメッセ静岡）

故障発生による施設、設備の機能停止に伴う安全性・利便性の低下を未然に防止し、施設を安定的に運営するため、予防保全的に実施してきている計画修繕は、光熱費高騰の影響等による財政状況を考慮し緊急性の高い5件を実施した。（その他小破修繕は51件実施）

計 画 修 繕	
1	中央棟鉄骨避難階段鉄部塗装修繕
2	立体駐車場屋上防水改修（2 / 2 期）
3	南館排煙窓オペレーター装置修繕
4	昇降機（エレベーター 1 号機）修繕
5	駐車場精算機新紙幣対応改造ほか 1 件修繕



また、令和4年6月1日に工事着手した「南館耐震補強・大規模改修工事」は、順調に施工を進め令和5年3月末に完了した。4月18日に完了検査を行い、4月28日に引渡しを受けた。



南館大展示場内部



外部（屋根）

4 組織・人材づくりへの取組

(1) 組織内の人材育成

職員に求められる能力や意欲向上に資する研修の実施や、適材適所の配置などにより、効果的・効率的な各事業の推進及び円滑な事業継承を図ることを目的に、当協会としての研修を実施し、人事評価制度の検討を行った。

成 果 目 標	結 果
職員の希望する研修の再確認、受講手順の整備と職員への周知 (経営計画目標)	職員が希望する研修の再確認を行い、日頃の業務に必要な性の高い研修を、職員が自主的に選択し令和6年度に受講できるようにした。

(2) 組織内の内部統制

静岡市の政策実現のパートナーとして、業務を遂行していくうえで求められる内部統制機能の充実を図ることを目的に、関連する規程等の見直しを行った。

成 果 目 標	結 果
整備が必要な規程等の確認作業を行い、整備後順次施行 (経営計画目標)	「定年延長」の整備及び「会計事務処理要綱」「就業規程(再雇用)」の見直しが必要となり、令和6年度に整備・見直しをすることとした。

5 理事会・評議員会

(1) 理事会

開催年月日	議 題	審議 結果
R5. 4. 1 (決議の省略)	< 審議事項 > 公益財団法人静岡産業振興協会副理事長の選任について	可決
R5. 5. 25 (定 時)	< 審議事項 > (1) 令和4年度公益財団法人静岡産業振興協会事業報告及び決算の承認について (2) 基本財産の一部処分及び繰入について (3) 令和5年度公益財団法人静岡産業振興協会第1次補正予算について (4) 定時評議員会の招集について < 報告事項 > (1) 理事長及び副理事長の職務執行状況について (2) 令和4年度資金運用状況について	可決 可決 可決 可決
R5. 6. 19 (決議の省略)	< 審議事項 > 公益財団法人静岡産業振興協会理事長及び副理事長の選任について	可決
R6. 3. 15 (定 時)	< 審議事項 > (1) 令和6年度公益財団法人静岡産業振興協会事業計画について (2) 令和6年度公益財団法人静岡産業振興協会予算について (3) 令和6年度公益財団法人静岡産業振興協会資金運用方針について (4) 事務局長の退任及び任命の承認について < 報告事項 > (1) 理事長及び副理事長の職務執行状況について (2) 静岡県立入検査の結果について	可決 可決 可決 可決

(2) 評議員会

開催年月日	議 題	審議 結果
R5. 5. 11 (決議の省略)	< 審議事項 > (1) 公益財団法人静岡産業振興協会理事の選任について (2) 公益財団法人静岡産業振興協会評議員の選任について	可決 可決
R5. 6. 19 (定 時)	< 審議事項 > (1) 令和 4 年度公益財団法人静岡産業振興協会事業の報告及び決算 の承認について (2) 基本財産の一部処分について (3) 任期満了に伴う理事の選任について (4) 評議員の選任について	承認 可決 可決 可決
R6. 3. 29 (決議の省略)	< 審議事項 > (1) 公益財団法人静岡産業振興協会理事の選任について	可決

参考資料

◇展示場の利用状況

大展示場では、利用件数は前年度と比較して 44 件増加し、利用日数も 118 日増加した。

これにより利用率は 16.3 ポイント増加し 50.6%となった。

※利用率＝使用日数÷（365-休館日数）

小展示場では、利用件数は前年度と比較して 40 件増加し、利用日数も 15 日の増加となった。これにより、利用率も 0.9 ポイント増加し、39.1%となった。

① 利用件数・利用日数・利用率

<大展示場>

()は前年度

	北 館	南 館	計
件 数	62 (87)	80 (11)	142 (98)
日 数	172 (205)	192 (41)	364 (246)
利用率 (%)	47.8 (57.1)	53.3 (11.4)	50.6 (34.3)

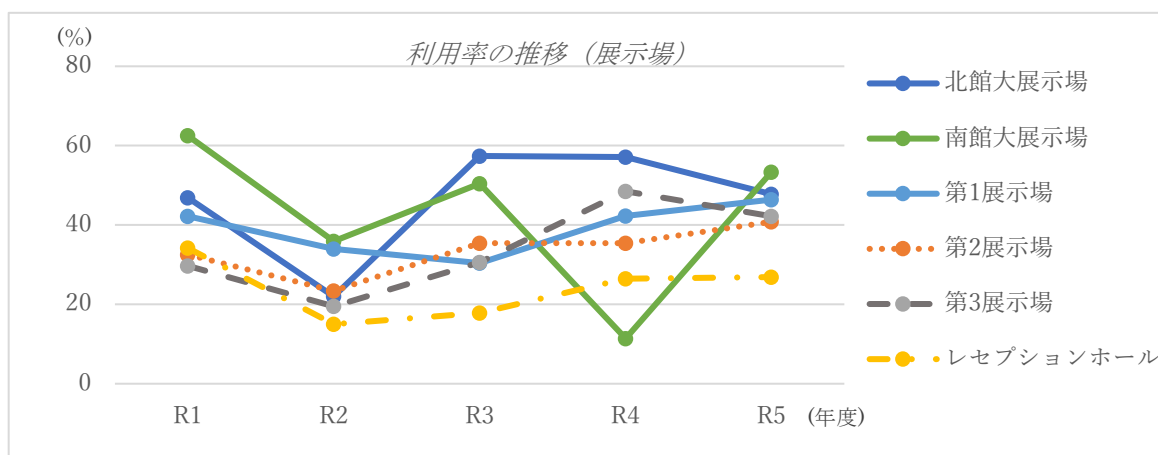
※休館日：12/29～1/3

<小展示場>

()は前年度

	第 1	第 2	第 3	レセプションホール	計
件 数	82 (64)	47 (43)	69 (55)	45 (41)	243 (203)
日 数	167 (152)	147 (127)	152 (174)	97 (95)	563 (548)
利用率 (%)	46.4 (42.3)	40.8 (35.4)	42.2 (48.5)	26.9 (26.5)	39.1 (38.2)

※休館日：12/29～1/3

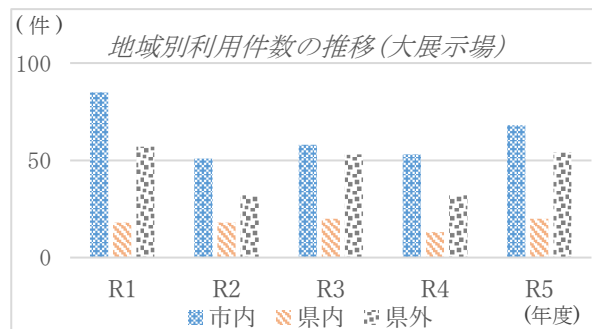


② 地域別利用状況

<大展示場>

()は前年度

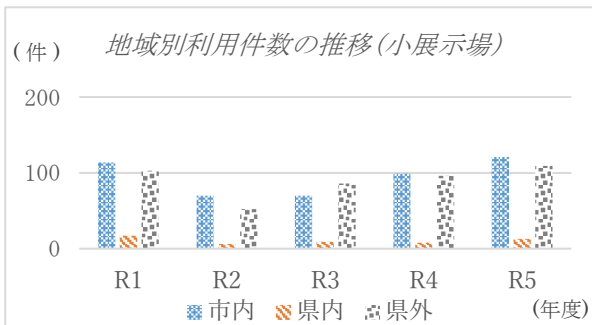
	市 内	県 内	県 外	計
件 数	68 (53)	20 (13)	54 (32)	142 (98)
割 合 (%)	47.9 (54.1)	14.1 (13.3)	38.0 (32.6)	100 (100)



<小展示場>

()は前年度

	市 内	県 内	県 外	計
件 数	121 (99)	13 (8)	109 (96)	243 (203)
割 合 (%)	49.8 (48.8)	5.3 (3.9)	44.9 (47.3)	100 (100)

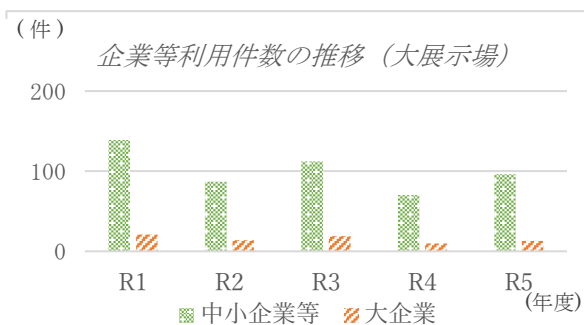


③ 企業等規模別利用状況

<大展示場>

()は前年度

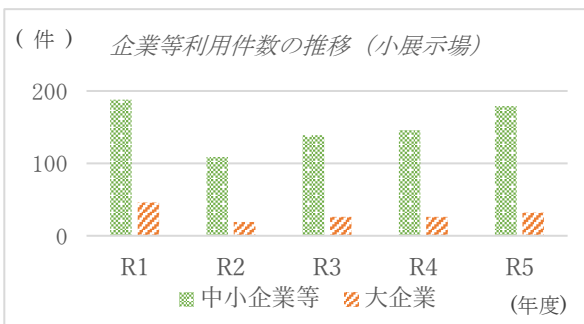
	中小企業等	大企業	計
件 数	96 (70)	18 (10)	114 (80)
割 合 (%)	84.2 (87.5)	15.8 (12.5)	100 (100)



<小展示場>

()は前年度

	中小企業等	大企業	計
件 数	179 (146)	32 (26)	211 (172)
割 合 (%)	84.8 (84.9)	15.2 (15.1)	100 (100)



④ 業種別利用状況

単位：件

業 種	大 展 示 場			小 展 示 場					合 計
	北館	南館	小計	第1	第2	第3	レセ プ	小計	
農林水産・食品等	8	2	10(5)	2	3	5	4	14(5)	24(10)
産業機械・精密機械	4	4	8(3)	3	4	6	1	14(4)	22(7)
建築・住宅・資材	6	14	20(18)	8	4	9	5	26(32)	46(50)
医療・福祉・美容	3	6	9(10)	23	6	5	2	36(41)	45(51)
家具・雛具・仏壇等	1	1	2(3)	5	2	7	1	15(13)	17(16)
交通・車両・運輸	5	2	7(6)	1	0	1	1	3(5)	10(11)
家 電	2	0	2(2)	0	0	0	1	1(1)	3(3)
システム・OA・ソリューション	0	0	0(0)	2	2	1	1	6(3)	6(3)
情報・通信・映像	0	0	0(0)	5	2	0	1	8(1)	8(1)
物流・商社・店舗	12	13	25(14)	3	4	1	4	12(15)	37(37)
衣料・呉服・宝飾等	0	1	1(0)	4	3	1	3	11(12)	12(14)
スポーツ用品	0	1	1(1)	0	0	3	1	4(5)	5(5)
家庭雑貨・文具	0	0	0(0)	1	1	0	0	2(1)	2(1)
文化メディア・マスコミ	0	2	2(1)	2	3	4	4	13(8)	15(10)
趣味・娯楽・ペット・プラモデル	12	15	27(19)	10	4	5	3	22(19)	49(24)
行 政	2	4	6(1)	1	0	2	0	3(6)	9(13)
学校・教育	4	10	14(9)	2	3	4	3	12(6)	26(29)
その他	3	5	8(6)	10	6	15	10	41(26)	49(17)
合 計	62	80	142(98)	82	47	69	45	243(203)	385(301)

※()は前年度

◇会議室の利用状況

会議室の利用のうち中央棟会議室では、会議室9室の利用日数の合計は1,463日であり、前年度1,433日に比べ30日増加した。また、利用率(*1)は0.8ポイント減少し、45.1%となった。

西館会議室は、静岡市スポーツ協会及び静岡技能協会の事務所使用により、引き続き年間を通して貸与した。

(*1) 利用率＝使用日数÷(365-休館日数)

<中央棟>

()は前年度

会議室	401	402	403	404	405	406	407	408	409	計
日数	187 (175)	181 (176)	184 (182)	125 (154)	139 (157)	125 (122)	149 (130)	231 (207)	142 (130)	1,463 (1,433)
利用率 (%)	51.9 (48.7)	50.3 (49.0)	51.1 (50.7)	34.7 (42.9)	38.6 (43.7)	34.7 (34.0)	41.4 (36.2)	64.2 (57.7)	39.4 (36.2)	45.1 (44.3)

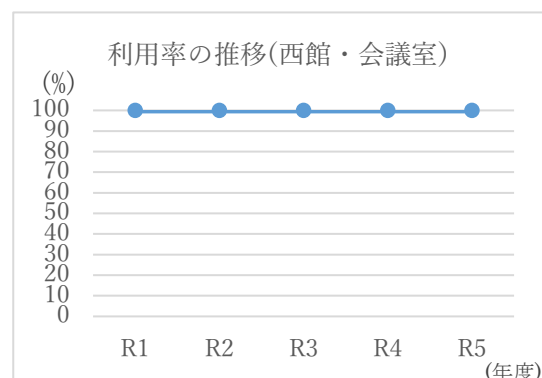
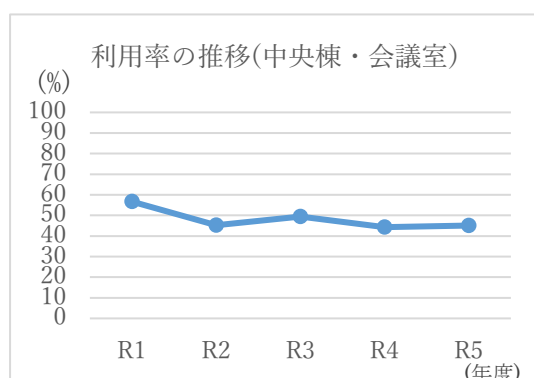
※休館日：12/29～1/3

<西館>

()は前年度

会議室	201	202	203	計
日数	359 (359)	359 (359)	359 (359)	1,077 (1,077)
利用率 (%)	100 (100)	100 (100)	100 (100)	100 (100)

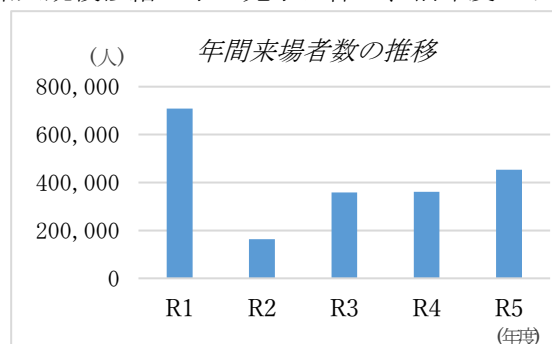
※休館日：12/29～1/3



◇年間来場者数

年間来場者数は、コロナ禍の収束と南館大規模修繕工事の完了に伴い、前年度より92,189人増加し、453,561人となった。

・年間来場者数 ※()は前年度
453,561人 (361,372人)



◇ 組織構成

(1) 役員 [R6. 3. 31 現在] () は前年度

理 事	評議員	監 事	計
10 人 (10 人)	8 人 (8 人)	2 人 (2 人)	20 人 (20 人)

(2) 事務局 [R6. 3. 31 現在] () は前年度

職員数 28 人 (29 人)

◆内訳：事務局長 1 (1) 課長 2 (3) 参事 3 (2)

センター長兼プロジェクトマネージャー 1 (1) 主幹 0 (3) 副主幹 2 (2) 主任 5 (5)

主事 3 (0) 嘱託 7 (7) 非常勤 4 (5)

